

平成 25 年度事業計画

I 公益目的事業 [1]

(1) 研究発表会事業

- 1) 2013 年春季低温工学・超電導学会 (通算第 87 回)
 - ・会期: 2013 年 5 月 13~15 日
 - ・会場: タワーホール船堀 (東京都江戸川区)
- 2) 2013 年秋季低温工学・超電導学会 (通算第 88 回)
 - ・会期: 2013 年 12 月 4~6 日
 - ・会場: ウィンクあいち (愛知県名古屋市)
- 3) 調査研究会として、次の 5 テーマを実施する。
 - ・「応用熱音響研究会」(継続)
 - ・「 MgB_2 および鉄系超伝導材料の特性制御に関する調査研究会」(継続)
 - ・「特異的機能性に着目した新規超電導応用技術に関する調査研究会」(継続)
 - ・「多次元拘束磁場の発生と物質応答に関する調査研究会」(新規)
 - ・「新規超流動現象探査調査研究会」(新規)

(2) 学会誌出版事業

- 1) 第 48 巻 4 号~49 巻 3 号の 12 冊を発行する。
- 2) 特集テーマとして以下を予定している。(仮題)
 - 「Y 系コイルの基盤技術と機器応用」
 - 「中・小型冷凍機器最近の話題」
 - 「超電導加速器 (ILC)」など
- 3) 「50 巻記念号」発刊に向けた準備を行う。

(3) 国際交流事業

- 1) 海外学会等との交流を行う。
- 2) 若手研究者国際交流支援を基盤強化 WG と連携して実施する。
- 3) 応用超電導・低温工学アジア会議 (第 7 回 ACASC) を支援する。

(4) 広報・広告関連事業

- 1) 社会に対して広告・広報活動を実施する。
- 2) 学会員、賛助会員及び支部の事業会員への広報活動を実施する。
- 3) 技術相談受付活動を行う。
- 4) 広告の充実化活動を実施する。
- 5) メーリングリストの整備を継続する。

(5) ホームページ事業

- 1) ホームページの維持・更新を継続する。
- 2) ホームページの英語版を充実する。

(6) 教育・セミナー事業

- 1) 極低温技術スクールを 1 回開催する。
- 2) 市民公開講演会を基盤強化 WG と連携して開催する。

(7) 環境・安全関係事業

- 1) 低温機器の関連法規調査を行う。
- 2) 他部会・学会との連携活動を行う。
- 3) 安全リスクの検討を行う。

(8) 研究会事業

- 1) 材料研究会として、シンポジウムを 4 回開催する。
- 2) 超電導応用研究会として、シンポジウムを 4 回開催す

る。

- 3) 超電導応用研究会が主体となって、「基本方針」使命 3 の実施活動を行う。

(9) 関西支部事業

- 1) 支部総会を 1 回開催する。
- 2) 講演会を 4 回開催し、内 1 回を若手合同講演会とする。
- 3) 第 29 回基礎技術講習会を開催する。
- 4) 40 周年記念事業を行う。
- 5) 役員会を年 3 回開催する。
- 6) 若手奨励賞 (信貴賞) を授与する。

(10) 東北・北海道支部事業

- 1) 支部総会、講演会、見学会、懇親会を各 1 回開催する。
- 2) 研究会 (材料研究会と共催) を 1 回開催する。また、支部奨励賞を授与する。
- 3) 超電導・低温若手セミナーを 1 回開催する。
- 4) 市民講演会を 1 回開催する。
- 5) 合同学術講演会を 1 回開催する。
- 6) 役員会を年 3 回開催する。

(11) 九州・西日本支部事業

- 1) 支部総会・企業セミナーを 1 回開催する。
- 2) 若手セミナー・支部成果発表会を 1 回開催する。
- 3) 研究会・特別講演会を開催する。
- 4) 超電導・低温技術レポート 2013 をまとめる。
- 5) 地域理科教育支援活動を実施する。
- 6) 役員会を 4 回開催する。
- 7) 支部奨励賞及び支部長賞を授与する。

(12) 冷凍部会事業

- 1) 例会として、講演会、見学会等を 8 回開催する。
- 2) 委員会として、例会事業、併設展示会、低温技術講習会等実行計画、次年度事業計画を策定する。
- 3) 学会併設展示会を 2 回開催する。
- 4) 年間講演集を発行する。

(13) 基盤強化事業

- 1) 市民公開講演会を 1 回開催する。
- 2) 海外学会と交流する。
- 3) 国内外学会と交流する。
- 4) 国際若手セミナーを開催する。
- 5) パンフレット別刷りを更新する。

(14) コミュニケーション事業

- 1) 超電導現象を活用した計測分析技術の調査を行う。
- 2) 65K 級冷凍・冷却システムに技術調査を行う。
- 3) 簡易小型クライオスタット調査を行う。
- 4) 室温超電導体を目指す物質調査を行う。

(15) 低温技術講習会事業

- 1) 低温技術講習会を 1 回開催する。

II 公益目的事業 [2]

(1) 褒賞事業

- 1) 平成 25 年褒賞

・論文賞 (低温工学 第 46 巻、第 47 巻)

受賞者: 佐保典英、松田和也、西嶋規世

対象論文: 手のひらサイズの超小型超電導バルク磁石の
開発、第 47 巻第 7 号、430~435 頁

- ・奨励賞 受賞者：東川甲平、宮崎寛史
- ・業績賞（学術業績）：該当者無し
- ・業績賞（工業技術業績）：該当者無し
- ・功績賞（学術・技術功績）：山藤 馨
- ・功績賞（学会活動功績）：該当者無し
- ・優良発表賞 受賞者：
 - 梶原貴人「スパッタ法により作製したBi, Pb-2223 薄膜の微細組織と熱処理条件の関係」
 - 夏目恭平「シート状自励振動式ヒートパイプ (OHP) の低温動作実験」
 - 福田竜彦「YBCO パンケーキコイルにおける局所的な特性劣化に起因する熱暴走の抑制手法」
 - 藤岡正弥「 $\text{SmFeAsO}_{1-x}\text{F}_x$ における金属添加効果」
 - 辺見 努「中性子回折を用いたITER CS 導体試験サンプルの劣化位置の評価」
 - 水野克俊「5T 発生可能な単段冷凍機冷却によるイトリウム系高温超電導磁石-磁石製作とその通電評価」

III 法人関連事業（共催、協賛及びシンポジウム・講演会等）

1. 社員総会・理事会等に関する事項

- (1) 第3回社員総会
 - 1) 日時：2013年5月14日、14:40-15:40
 - 2) 場所：タワーホール船堀（東京、江戸川区）
 - 3) 議案：平成24年度決算報告、平成25年度予算計画
- (2) 理事会開催 定例4回
- (3) 運営委員会開催 4回
- (4) 平成26年度・平成27年度役員候補者の選出

2. 共催、協賛及び後援のシンポジウム・講演会等

- 1) 「第39回シンポジウム/第17回超伝導科学技術賞授賞式」(於：タワーホール船堀)

主催 未踏科学技術協会 協賛 2013年4月16日
- 2) 「第47回空気調和・冷凍連合講演会」(於：東京海洋大学工学部85周年記念会館)

主催：日本機械学会他 協賛 2013年4月16日～18日
- 3) 「2013年度春季低温工学・超電導学会」(於：タワーホール船堀)

主催：低温工学・超電導学会
 協賛 応用物理学会および日本機械学会
 2013年5月13日～15日

- 4) 「第25回電磁力関連のダイナミクスシンポジウム」
 (於：箱根ホテル小涌園)
 主催：日本機械学会 協賛 2013年5月15日～17日
- 5) 「第50回日本伝熱シンポジウム」(於：ウェスティンホテル仙台および仙台トラスシティ)
 主催：日本伝熱学会 共催 2013年5月29日～31日
- 6) 「第18回動力・エネルギー技術シンポジウム」(於：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館)
 主催：日本機械学会 動力エネルギーシステム部門
 協賛 2013年6月20日～21日
- 7) 「真空技術基礎講習会第19回真空ウォーキングコース」
 (於：神奈川県産業技術センター)
 主催：日本真空工業会 協賛 2013年9月9日～13日
- 8) 講習会 伝熱工学資料(改訂第5版)の内容を教材にした熱設計の基礎と応用(於：日本機械学会会議室)
 主催：日本機械学会 協賛 2013年9月19日～20日
- 9) 「第54回高圧討論会」(於：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)
 主催：日本高圧力学会 協賛 2013年11月14日～16日
- 10) 「第10回流動ダイナミクスに関する国際会議」(於：仙台国際センター)
 主催：東北大学流体科学研究所 協賛 2013年11月25日-27日
- 11) 「第16回スターリングサイクルシンポジウム」(於：日本科学未来館)
 主催：日本機械学会 協賛 2013年11月30日
- 12) 「第16回ミレニアム・サイエンス・フォーラム」(於：英国大使館)
 主催：ミレニアム・サイエンス・フォーラム
 協賛 2013年11月13日(予定)